

事案名	第2海軍航空廠（厚木）の事案（神奈川県14-4）
フォローアップ調査資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「化学戦資材ノ件回答」昭和21年3月9日〔1〕 ・「各航空廠引渡目録」2/2〔2〕 ・Intelligence Report on Japanese Chemical Warfare Volume〔3〕 ・『日本海軍史』第11巻〔4〕 ・「終戦時に於ける横須賀鎮守府関係参考資料」昭和22年〔5〕
追加資料	<ul style="list-style-type: none"> ・『日本海軍航空史（2）』（軍備編）〔A1〕 ・『大和市史3』（近現代通史編）〔A2〕 ・市区町村変遷：神奈川県 hyyp://homepage1.nifty.com/ishato/tiri/sityoson/03kanto/14_kana1.htm〔A3〕 ・「引渡目録 第2海軍航空廠 厚木工場・茅ヶ崎工場」昭和20年10月10日〔A4〕 ・「第2海軍航空廠引渡目録」〔A5〕 ・「自衛隊施設の使用実態等調査書（業務資料）」〔A6〕
平成15年度フォローアップ調査報告書の要約	<p>終戦時に、第2海軍航空廠（厚木）では毒ガス爆弾が保有されており、米軍が進駐する前に廃棄済みであったとの情報がある。厚木補給工場は、神奈川県高座郡、神奈川県厚木にあったという記載がある。</p> <p>生産・保有情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和20年9月2日現在、第2海軍航空廠（厚木）には、60kgガス爆弾が8,852発存在していた〔1〕。 ・終戦時の第2海軍航空廠の爆弾保有数は、厚木には各種60kg爆弾（通常・陸用・1号・2号・3号・21号）・70kg爆弾（6号）・30kg27号爆弾が合計205発存在していた〔2〕。 <p>廃棄・遺棄情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米軍は第2海軍航空廠（2nd Naval Aeronautical Arsenal）が保有していた毒ガス弾について、厚木には60kgイペリット爆弾が8,850発存在していたとし、米軍進駐前に廃棄済みであったと報告している〔3〕。 <p>その他情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2海軍航空廠厚木補給工場は、「神奈川県高座郡」に存在していたとの記載がある〔4〕。 ・第2海軍航空廠厚木補給工場は、「神奈川県厚木」に存在していたとの記載がある〔5〕。

<p>新たな情報</p>	<p>その他情報</p> <p>(1) 第 2 海軍航空廠厚木補給工場の存在場所に係る情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 海軍航空廠厚木補給工場は神奈川県高座郡綾瀬村に存在した〔 A 1 〕。同村周辺には、飛行場等の軍事施設が存在した〔 A 2 〕。神奈川県高座郡綾瀬村は、現在の綾瀬市に相当する〔 A 3 〕。 ・ 第 2 海軍航空廠厚木補給工場は、厚木飛行場周辺（現在の神奈川県大和市、綾瀬市、藤沢市）や海老名地区（海老名市）に分散して存在していた〔 A 4 〕〔 A 5 〕。 <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の綾瀬市に存在した厚木航空隊は、相模野海軍航空隊内で設立準備がされ、昭和 1 8 年 4 月 1 日に開隊した。当初は海軍の航空母艦に搭乗する隊員の訓練が主な任務であった。なお、この隊の設置と同時に厚木飛行場の名称が使われるようになったとの記載がある〔 A 2 〕。 ・ 海上自衛隊厚木航空基地（綾瀬市・大和市）に係る旧軍施設について、昭和 1 3 ~ 1 6 年旧日本海軍が約 4 9 6 万 m² を買収して相模野海軍航空隊設置、昭和 1 8 年厚木海軍航空隊及び第 2 相模野航空隊となったが、昭和 2 0 年 8 月 2 8 日に連合軍先遣隊が到着、8 月 3 0 日に連合軍最高司令官等が飛来した〔 A 6 〕。
--------------	--